

プロに聞く！曲のアレンジってどうやるの？

＜静岡文化芸術大学軽音楽部学生＞

開催日：2024年2月6日、3月5日

＜浜松開誠館中学校・高等学校軽音楽部学生＞

開催日：2024年2月16日、3月15日

今回のワークショップの目的は、普段バンド活動をしている学生が、編曲の技術を学び、自身の演奏活動のステップアップに繋がることです。

2回のワークショップを通して、曲の構成を学び、実際に曲を作って発表します。

講師は、浜松を拠点に音楽活動をしている Jam9 の Giz'Mo 先生です。

Giz'Mo 先生は年間 100 件以上の作曲に携わっており、E-girls「Follow Me」など皆さんもご存じの曲も作曲しています。また、Jam9 ではラップ担当として活動しています。

1 回目は Giz'Mo 先生の「鼻歌から思い付いたメロディを曲にして行く手順」をテーマにした講義です。

ご自身のこれまでに手掛けた楽曲の紹介や、ご自身の活動の紹介から始まりました。歌手、作曲家、アーティストマネジメントと Giz'Mo 先生は様々な活動をされているそうです。

アイスブレイクの後、曲の仕組みについて以下のようなお話がありました。

- ・音楽は数学でできている。
- ・使える音（音階）は曲によって決まっている。
- ・音楽はリズム、和音、ルート音、メロディを合わせると完成する。
- ・「明るい」や「カッコいい」など、コードにはそれぞれ雰囲気がある。
- ・曲の組み立てには、流行りがある。
- ・これまでの経験からの歌詞を書くポイント。
- ・メロディは使える音の中から音を適当に並べてもできるが、歌いやすいように音の高さの並びは考えたほうがいい。

また、楽曲制作の業界では当たり前のことが、アーティストの新しい試みで塗り替えられることがあるといったトレンドのお話もいただき、プロがどういった視点で音楽を聴いているのかも垣間見ることができました。

Giz'Mo 先生は、学生時代からバンド活動の経験があるため、参加者の気持ちもよく理解されている様子でした。また、講義後には談笑しながら参加者からの質問に答えていました。

2 回目の発表会に向けて、曲を作ることが宿題となりました。曲の作り方や発表方法は自由です。どのような曲が披露されるか楽しみです。



静岡文化芸術大学軽音楽部学生の回の様子



浜松開誠館中学校・高等学校軽音楽部学生の回の様子

2 回目

発表会では、参加者のみんなは、Giz'Mo 先生に曲をアピールするつもりで曲の紹介と披露をしました。曲を披露した後は、Giz'Mo 先生から、曲をどうアレンジすればもっと良くなるか等のアドバイスをもらいました。

作った曲を演奏して披露したグループや、パソコンで打ち込んだ音源で披露した人、楽器演奏の録音と打ち込みを合わせた音源を披露した人など、参加者それぞれが決めた形で発表しました。

必ずしもみんなが満足いく仕上がりの曲ができていない様子でしたが、自分で考え、実際にやってみることが大きな経験となったと思います。



静岡文化芸術大学軽音楽部学生の発表の様子



浜松開誠館中学校・高等学校軽音楽部学生の発表の様子

今回のワークショップを通して学んだことを活かして、普段のバンド活動にいい影響がでるといいですね。

参加者のみんなが作った動画と曲は、こちらでご覧いただけます。

<https://www.creative-hamamatsu.jp/projects/hcb/workshop/ws202309/>

